

令和元年度 決算

事業実績や効果を

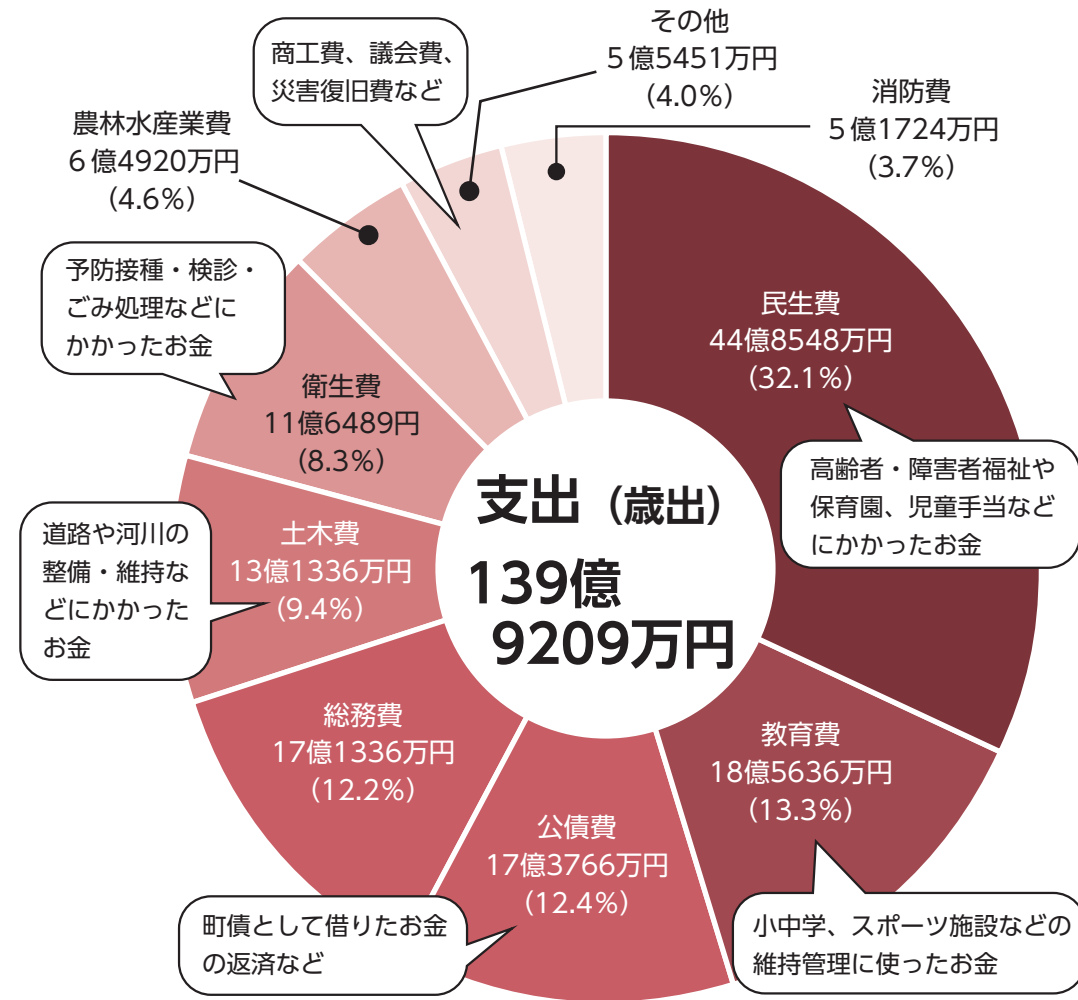
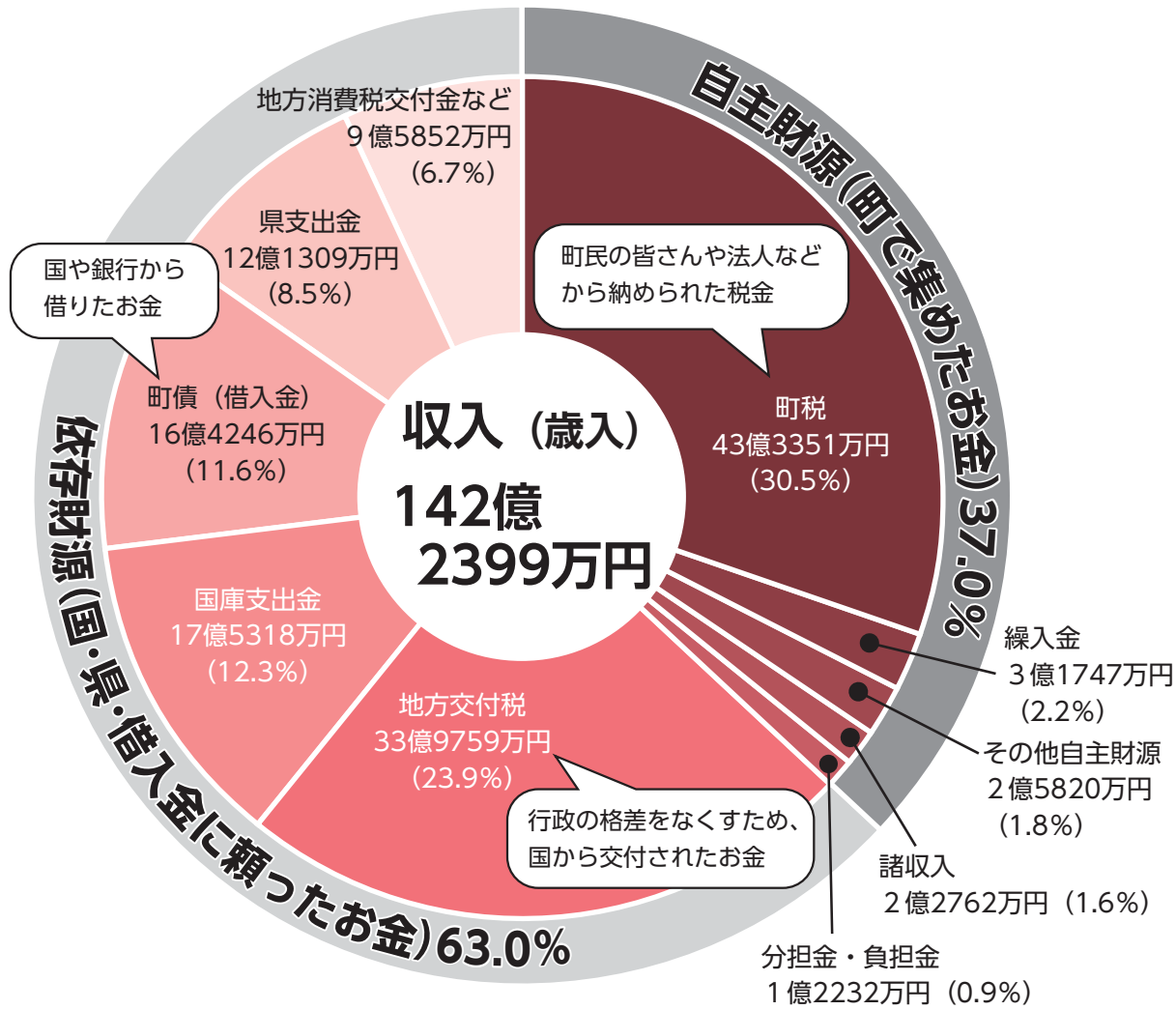
を厳しくチェック!!

一般会計支出総額

139億9209万円を

認定

●一般会計決算● (賛成14人・反対1人)



9月会議で提出された令和元年度一般会計と7特別会計、3事業会計の決算を令和2年9月16日から10月2日にかけて審査し、10月会議で認定した。

●数値で見る 町の財政

経常収支比率

91.7%

(前年度比1.0悪化)

人件費など毎年かかる固定費の割合で、低いほど財政運営にゆとりがあり、政策的に使えるお金が多くあることを示す。

財政力指数

0.548

(前年度比0.005改善)

予算のうち、自前の税収で賄っている割合で、高いほど財政力が強いことを示す。

実質公債費比率

9.7%

(前年度比0.7改善)

借入金の返済額から資金繰りの危険度を指標化した数値で、早期健全化基準である25.0%を超えると町債発行に制限がかかる。



▲厳しく審査

●事業会計●

(全員賛成)

| 会計名 | 収入 | 支出 | |
|--------|-------|-----------|-----------|
| 河北中央病院 | 収益的収支 | 12億3480万円 | 12億1360万円 |
| | 資本的収支 | 7827万円 | 1億3158万円 |
| 水道 | 収益的収支 | 8億3733万円 | 7億462万円 |
| | 資本的収支 | 1億1475万円 | 3億4462万円 |
| 下水道 | 収益的収支 | 15億6337万円 | 15億2974万円 |
| | 資本的収支 | 9億1183万円 | 15億4415万円 |

※金額はすべて1万円未満を切り捨てて記載

●特別会計●

(全員賛成)

| 会計名 | 収入 | 支出 |
|-----------|-----------|-----------|
| 国民健康保険 | 33億732万円 | 32億3064万円 |
| 後期高齢者医療 | 3億9803万円 | 3億9097万円 |
| 介護保険 | 26億2354万円 | 25億7114万円 |
| 簡易水道事業 | 525万円 | 418万円 |
| バス事業 | 1億1210万円 | 1億868万円 |
| ケーブルテレビ事業 | 3986万円 | 3986万円 |
| 河合谷財産区 | 120万円 | 120万円 |

9942万円



河合谷宿泊体験交流施設整備事業

河合谷小学校跡地に宿泊体験交流施設を整備。

4億1431万円



小中学校普通教室等にエアコンを設置

児童生徒の学習環境向上のため、エアコンを整備した。

元年度 決算

注目事業

町の予算がきちんと執行されたか、予算決算常任委員会で慎重に審議し、すべての会計決算を認定しました。

その中で、議会が目にした事業を紹介します。

決算額は元年度のみのものであり、全体事業費ではありません。複数年事業のものもあります。

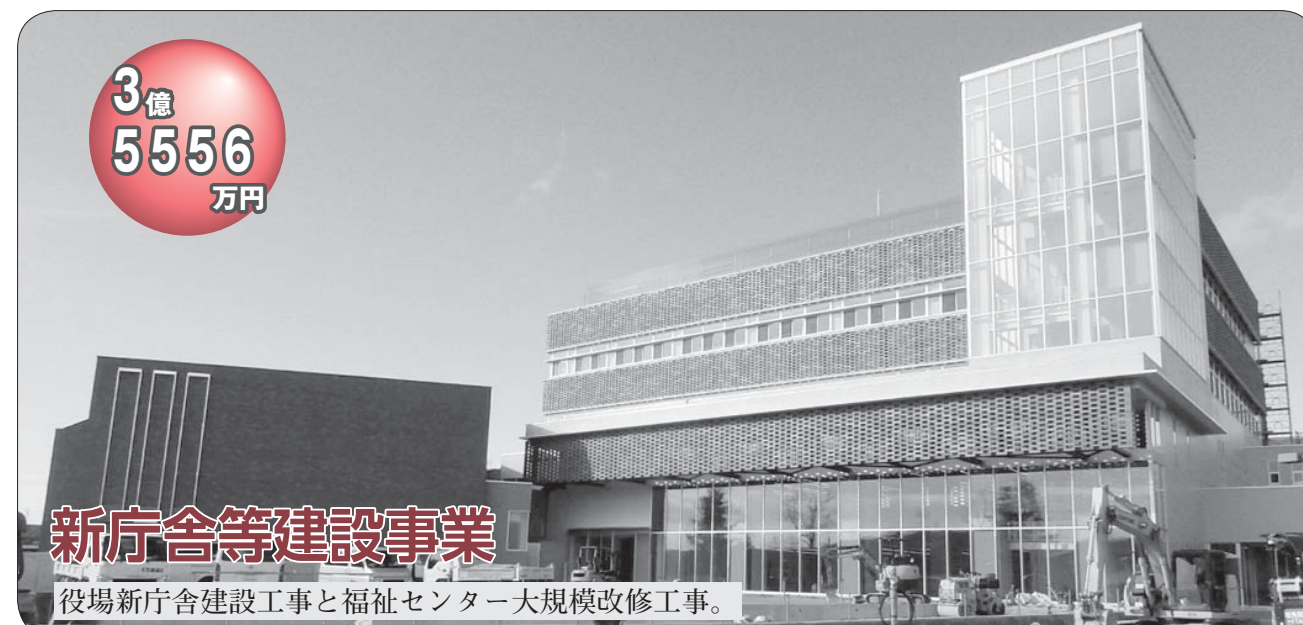
1億451万円



橋梁補修事業

橋梁を補修するための設計委託料や工事費。

3億5556万円



新庁舎等建設事業

役場新庁舎建設工事と福祉センター大規模改修工事。

検証

30年度決算の指摘は

どう生かされたか？

指摘 マイナンバーカードの取得促進に取り組み

その後 令和2年7月から、窓口でマイナンバーカードの申し込みサポートなどを実施したところ、マイナンバーカードの交付率が増加した。

指摘 体育施設使用料の見直しを

その後 令和2年4月から、体育施設や学校開放事業に係る使用料を、近隣市町を参考に見直した。

指摘 河北中央病院の経営健全化に努めよ

その後 より一層の医療水準の向上と、大学病院・診療所・クリニックとの連携強化による患者増の取り組みにより、元年度決算は黒字となった。

元年度決算の主な指摘事項

税・使用料の未納解消を

町税や国民健康保険税、使用料などの収入未済額は、近年の対策強化により改善は図られているものの依然として多額になっている。引き続き積極的な取り組みを図るとともに、悪質な滞納者には法的手段を徹底し、強い姿勢で対処されたい。

投票率向上に向けた取り組み効果を検証せよ

選挙当日の町営バス無料化など、投票率の向上に向けた取り組みについて、実施後にはその効果を検証し、改善を行うことで、より高い成果が得られるよう努められたい。

防災行政無線放送内容確認方法の周知を図れ

防災行政無線は、状況によっては放送内容が聞き取りにくいことがある。このような場合でも、テレホンダイヤルなどの活用により放送内容の確認が可能であることから、これらの確認方法のさらなる周知を図られたい。

学校給食費の公会計化を推進せよ

学校給食費の徴収・管理業務は、現在、各学校単位での私会計として処理されているが、本来は学校が担う業務とはいえない。安定した給食事業を実施していくため、公会計化を着実に推進されたい。

総括

当町の財政は、年々改善は図られているが、新型コロナウイルス感染症の影響による景気の減速などで、今後しばらくは大幅な税収増は見込めず厳しい財政状況が予想される。こうした中で、役場新庁舎や屋内温水プールの整備を初め、大型事業が進められており、各種事業を着実に実施するための財源の確保と最少の経費で最大の効果を上げることができるよう計画、実行、評価、改善を継続的に行うことが求められる。引き続き財政健全化に向けた計画的かつ効率的な行政運営に努めるとともに、第5次町総合計画の推進に向け、より一層積極的に取り組まれるよう要望する。

反対

認められない支出がある
自衛官募集事務費、町道庄能瀬線・町道竹橋大坪線の各道路改良事業費は、必要な支出とは認められない。
塩谷 道子議員



▲刈安小通学路グリーンラインを視察



▲新築した放課後児童クラブを視察 (つばたっ子スマイル)